

今週のフレーズ&ワード

window of opportunity

～絶好のタイミング・機会～

先月、国際通貨基金（IMF）が「日米の株価は実体経済と乖離しており、割高感がある」と指摘し、私も外国の元同僚から Do you also think Japanese stocks are overvalued?（お前も日本株は割高だと思うか）と聞かれました。全体が割高といわれる中でも、投資妙味のあるような stay-at-home stocks（巣ごもり銘柄）などを見つけられたら！と心の中で思っているのですが、タイミングの判断はなかなか難しいですね。

I may have missed a **window of opportunity to invest in Coronavirus-related stocks. コロナ関連株への投資は、絶好のタイミングを逸してしまったかもしれません。**

window of opportunity（絶好のタイミング・機会）というフレーズです。window といえば「窓」ですが、ここでは「アクションを起こすべき短い限られた期間」。

opportunity（機会）はポジティブな響きのある単語。chance は偶然に左右される含みがあるので、ビジネスでは opportunity の方が好んで使われます。

-related は、customer-related/security-related issues（顧客・安全に関わる問題）のように、名詞を簡潔に修飾する便利な表現方法です。

また、次の例文のように、window は1語だけでも「絶好のタイミング」という意味で使われます。

It looks like a critical **window for investment will be closed for a while. 投資の決定的な好機はしばらく来そうにないですね。**

critical にはいろいろな意味がありますが、ここでは「決定的な、決定的に重要な」。

The window is closed. は「今は好機ではない、そのタイミングではない」ということ。closed の代わりに shut を使うこともできます。逆に「タイミング到来」なら The window is open. となります。

We should make the most of this three-month **window to prepare for a second wave. この3カ月という短い期間を、第2波に備えるために最大限利用すべきです。**

three-month window（3カ月という限定された短い期間）という言い回しです。スケジュール調整では I'm tied up today, but there might be a window tomorrow.（今日は忙しくて手いっぱいだけど、明日ならちょっとした空き時間があるかも）といった感じです。

単語・熟語チェック

- related ～に関連した make the most of～ ～を最大限利用する
critical 決定的な、決定的に重要な wave（流行などの）波